

平成24年度

P T A研修視察旅行アンケート結果報告

<期日> 平成 24 年 9 月 20 日 (木)

<日程> 燕中等教育学校集合 11:50
出発 12:00 (貸切バス移動)
新潟大学着 12:50 説明・視察 (13:00~14:00)
(貸切バス移動)
新潟薬科大学着 15:20 説明・視察 (15:30~17:00)
(貸切バス移動)
燕中等教育学校着 17:50

<参加者数> 保護者 18 人 教員 2 人 計 20 人

保護者内訳

1 年 6 人 2 年 1 人 3 年 1 人 4 年 7 人 5 年 2 人 6 年 1 人



P T A研修視察旅行アンケート結果報告

1 この研修に参加しようと思った理由を聞かせてください。(複数回答可)

- ① 視察先の大学が子の進学先として魅力的であったから。
[27%]
- ② 大学についての基本的な知識と理解を深めようと思ったから。
[80%]
- ③ 保護者同士の親睦が深まると思ったから。
[27%]
- ④ その他
 - ・現在の学生の雰囲気を感じたかったため。
 - ・いつも参加しているため
 - ・総合大学の見比べができると思ったため。

2 今回の研修を終えての感想を聞かせてください。(複数回答可)

- ① 2つの大学が子の進学先の候補としてよいと思えた。
[20%]
- ② 大学についての基本的な理解が深まった。
[73%]
- ③ 保護者同士の親睦が深まった。
[27%]
- ④ その他
[13%]
 - ・バスの中での話がとてもためになった。

3 2つの大学についてもっと知りたいことを聞かせてください。(複数回答可)

<新潟大学>

- ① 入学後の学習・研究内容について
[40%]
- ② 入学後の学費(必要経費)や奨学金などについて
[27%]
- ③ 卒業後の進路(就職先や進学先など)について
[60%]
- ④ その他
なし

<新潟薬科大学>

- ① 入学後の学習・研究内容について
[40%]
- ② 入学後の学費（必要経費）や奨学金などについて
[33%]
- ③ 卒業後の進路（就職先や進学先など）について
[33%]
- ④ その他
なし

4 来年度の計画立案について、ご意見をください。

(1) 実施時期について

- | | | | |
|------------|-------|---------|-------|
| ア 4月～7月ごろ | [6%] | イ 夏休み期間 | [13%] |
| ウ 9月～11月ごろ | [87%] | エ その他 | なし |

(2) 日程について

- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| ア 午前半日 | なし | イ 午後半日 | [40%] |
| ウ 1日 | [73%] | エ 1泊2日 | [13%] |

(3) 行き先・訪問先について

① 先進校（中高一貫教育校など）

- | | | | | | |
|------|----|------|-------|------|-------|
| ア 近隣 | なし | イ 県内 | [40%] | ウ 県外 | [27%] |
|------|----|------|-------|------|-------|
- エ その他（希望校など）
- ・直江津中等教育学校
 - ・村上中等教育学校
 - ・津南中等教育学校
 - ・柏崎中等教育学校
 - ・新潟高校
 - ・品川女子学園
 - ・文武両道の公立中学校

② 大学等

- | | | | | | |
|------|-------|------|-------|------|-------|
| ア 近隣 | [20%] | イ 県内 | [27%] | ウ 県外 | [47%] |
|------|-------|------|-------|------|-------|
- エ その他（希望校など）
- ・東大
 - ・W大
 - ・K大
 - ・都心エリア、八王子エリアの大学
 - ・看護大
 - ・上教大
 - ・東北大学、北海道等の帝大系列

その他いろいろなご意見

◆個人で大学を見学に行っても外観や周辺しか見ることができませんが、今回は大学内部の講義室や研究室まで細かく見学することができて、大学を考えるうえでとても参考になりました。

早いうちから親が大学を見ておくことで子供達にアドバイスできることも増えてとても良いことだと思いました。また、今回参加して異学年の親御さんのお話を聞くことが参考になったことがたくさんありました。

◆薬科大の学生についてはラウンジで学習する生徒が多いのにビックリした。

さすが私立だと思った。学生が集うスペース（机、いす）がたくさんあり、廊下もとても広い。

◆参加者で意見交換できる時間をもっと欲しかった。（バスの中が一番良かった・・・）貴重な機会、もっとたくさんの人に参加してもらいたい。

◆視察旅行に参加し、実際に大学生の様子、大学に進学された子を持つ保護者の生の声が聞けてよかった。

本当に学びたい目標を持ち、進学を選択していくことが大事なのかなと思った。

◆20年余の月日がたち、設備は新しくなっても国立大学の雰囲気は変わってない感じがした。

薬科大はお金持ちのお子様向けの感じがした。学生がとても大らかだった。

◆昨年の視察と違いバスに乗ってから降りるまで終始説明や指導をいただきました。大変ありがとうございました。家庭での教育の話ももつともだと思いました。有意義な半日でした。

県外視察もちろんよいと思いましたが、こうした機会がたくさんあって、人数が増えるとよいと思います。

◆先生のお話や、ほかの親御さんのお話を聞いて、とてもためになりました。特に現実的なお金の話は、興味深かったです。

まだ大学受験は先の話のような気がしていましたが、早いうちに目標を持つことがとても大事だなと感じました。それとともに、親の意識も大切だと思いました。

参加したことによって子供と話すきっかけができたと思います。

◆半日（午後から）という日程のため参加しやすく、良かったと思います。

大学という場所に興味もあり親としての目標、子供からの目線そんな場面を感じたいと思い参加しました。実際、2ヶ所の訪問先でしたが、見学時間的には、もう少しほかの学科も見てみたかったです。1ヶ所にしぼり案内してくださる先生と行動することで、日ごろの過ごし方などもお話を聞ける良さもあり、もっと聞いてみたかったです。

新潟大学は目的に向かって学習しているように強く感じましたし、自分自身を大切に考え、学習に取り組まれていました。サークル活動は普段とは違う楽しいパワーのように見えました。

バスの移動もゆったりと過ごせお菓子の配慮などうれしかったです。教頭先生のお話は分かりやすく、現実の状態など聞けてとても大切な時間でした。

◆どちらの大学も落ち着いた雰囲気でした。

私立は学費が高いというイメージがあったのですが、成績優秀者には学費免除などの特典があると知りました。

女の子は出産があるので、大学受験の時ばかりでなく、就職してからの長い人生も考えて大学を選んだ方が良いとのこと。

来年以降は、県外の国立や私立の大学も見学してみたいと思いました。

我が子には現実を教えるべきか夢を追いかけさせるべきか悩むところですが、当分はあきらめずに夢を追いかけてほしいと思います。

◆半日という短い時間で、2つの大学を見学できたのはよかったですと思います。ただ、新潟大学と薬科大学では学部の違いもあると思いますが、薬科大学の方が、私のイメージする大学生にちかく、新潟大学人文学部生はかなりラフな感じが見受けられ、同じ大学の中の他の学部も見学できれば、また違う見方ができたのかなと思いました。

次年度の視察旅行は大学見学であれば、文系と理系と両方を比較できるとよいと思います。

◆新潟大学は夏休み中であつたため、講義中の様子を見学できなかったことが残念でした。理数系の学部も見てみたかったです。

薬科大に関しては説明する方が、早口で理解に苦しみ進行が早すぎて、早く帰れと言わんばかりの行動であつたため、あまり参考になることはないと思いました。聞いているだけで疲れてしまいました。

今度は県外の有名大学や防衛大学など変わったところを視察してみたいです。来年も参加したいと思います。

日程は半日でなく1日でも良いのではないのでしょうか。

◆子供の進路を考える上で私自身が大学の空気を肌で感じることができたとても貴重な 1 日でした。バスの中での遠藤先生のお話や大学へ進学されたお子さんを持つ保護者の方の実体験や考えを聞くことができ、参加しなければ分からないことを聞けて、とてもよかったです。

◆バスの中での教頭先生のミニ講演会がとてもよかったです。(もっと聞きたかったです!!) 息子が入学したばかりのころ、「偏差値って何?」「この大学は国立?私立?」というほどの無知な私でした。自宅から通える国公立の大学に行つて欲しいと願っていました。新潟大学くらいは行けるだろうと安易な考えもありました。そう簡単なものではないとすぐに青ざめました。研修に参加したのは学校説明、施設見学よりも先輩保護者の方々の話が聞けるといのが魅力です。毎年参加しているのは、志の高い保護者の話を聞くことで、刺激をもらいいろいろな情報を得ることができるからです。参加人数が少ないのは残念です。素晴らしい機会を逃しているのはもったいないです。

来年度の研修の参加が最後になりますが、個人的には 1 泊希望です。ただ、6 年生での参加はどうかと考えるてしまいます。進路はほぼ決定しているでしょうから……。

学年を超えた保護者のつながりは有難いものです。それができる研修がずっと続けられますように。

◆ブラウザで表示の就職では難しい数字であった。これも他大学よりましという説明であったが、地方国立大学のレベル低下が進んでいると思う。原因は、安易に推薦入試を導入したためと思う。

薬科大学については、国家試験合格率が高いという説明であったが、1 学年 180~200 名の生徒がいて、国家試験を受験するのが 140 名程度ということを見るとあとの 40~60 名はどこにいったのか。国家試験の合格率ではなく、合格者数をみて大学を選ぶ必要があると思う。

薬学部は学費も高く(200~250 万/年)、6 年ということを見ると国公立薬学部に入學できる学力をつけてほしいと思う。薬学部を目指すのであれば、国公立では富山大学薬学部が最低ランクであり、新潟に近いこともあるので、せめてそこへ合格できる学力は欲しい。

大学へ研修に行くことを否定するわけではないが、PTAの研修の目的は「当校との進路指導に対する取り組みの違い」「保護者の意識や対応の違い」など、当校の狭い枠の中だけでみるのではなく、広い視野や全国の意識で見てほしいという思いから行っていると思う。大学見学も良いが、当校が模範とするべき他校の中等教育学校や高校の見学を考えに入れてほしい。今の当校の進路結果あれば、県内どこの中等を見ても当校よりレベルが高いと思うし、進路実現のための対応もできていると思う。また、保護者の意識も当校より、はるかに高いはず。直江津でも津南でも、頭を下げてでも教えてもらったほうがよい。

◆この度の「PTA視察旅行」は、超デラックスバスのおかげもあり出発から帰着まで、本当にゆったりとして楽しく有意義でした。それは、各大学入試科からの説明や施設見学を上回るほど、車中がとても充実していたからだと思われます。

訪問先の大学のパンフレットや資料からは伺い知ることのできない、設置学部 of 強み・近年の大学生徒学習状況等、過去の県内データを鋭く分析してきた、遠藤教頭先生だからできるお話や、前期課程数学科から初参加の五十嵐先生からの頭脳トレーニング問題等、保護者が楽しめる時間を提供してくださいました。

また、大学受験既経験保護者の方々からは「実はこうだったんです！」という各家庭ごとの秘話も続出、ご指名質問もありで、アルコールも入っていないのに大変盛り上がりました。今から来年が楽しみです。

◆参加して今の大学事情がよく分かり、また学生たちの様子も分かり、研修を終えて子供と将来の話をしてみました。親の見方ではどちらの恵まれた学習環境は是非ともチャレンジしてもらいたいと思いますが、受験するのは子供なので、オープンスクールにどんどん参加して子供にも今の大学事情をしっかりと見せて進路を決めていきたいと思っています。

説明の中で一番気になったことは大学(学部)の卒業後の就職状況についてです。各学部の就職状況について資料があるとよかったなと思います。

◆バス車内の遠藤教頭先生ならではの情報トークは楽しく且つとても参考になりました。4.6 学年と 6 年間本校に居つつ初めての参加でした。大学見学＝先の事。そうであっても親のサポート意識、お金の準備等、心構えとしては出来ることならば参加すべきと思いました。個人でのオープンキャンパスも良いですが、団体、学校の先生のサポート心強いです。

お便り配布にあたり、各学年の先生のコメントをそえる、趣の異なる学校、ジャンルを設定する。私立、国公立の対比だけでなく、同じような分野で大学と専門学校の対比。そのほか、大学法学部～警察官、高卒～警察官では将来的にどのように違ってくるのか。など大学ばかりでなく、いろんな選択肢があるともっと興味を持って参加される方がでてくるかもしれません。個人ではなく団体だからこそお話や見学をさせてもらえる利点を皆さんと共有できたら、参加者でつながれます。1 年次で知ることにはものすごい差です。ずっと伝統として継続したらよいと思いました。

◆受験を目前に控えた娘と、その影響で大学選びを意識し始めた息子のために親も大学を知りたいと思い、今回参加しました。

大学の内部まで見学できるチャンスのオープンキャンパスには、子供たちは友達と一緒にいくため、なかなか親の出番はありません。大学について知りたいと思っても、機会に恵まれませんでした。今回新潟大学は夏休み中ということで、実際の学生たちの様子を見ることができなくて残念でしたが、薬科大の学生たちが一生懸命勉強している姿を見

て、就職に直結する専門分野を学ぶことにすごく魅力を感じました。

早い段階から親が色々な大学の内部まで見て知ることにより子供たちの大学選びのアドバイスができるようになると思うので今回のような企画は大変ありがたいです。

また、バスでの移動中、同行してくださった教頭先生の大学の裏話や、大学受験を経験している先輩親御さんの体験談を聞いて、参考になることがたくさんあり楽しかったです。次回またこのような機会があれば、是非参加したいです。

◆大学の視察ということで、どんな感じになるのか正直不安でした。ですが、先生方や会長様のお話を聞かせていただく度に具体的なものが少しずつみえてきました。参加された保護者の方のお話もより身近に感じられてとても参考になりました。

そして、各大学を訪問させていただいたときにもそれぞれの大学の大きな特色や様子について知ることができ、とても有意義な一日を過ごさせていただきました。

様々な大学についての情報を早い段階から、入手しておくことが改めて重要であることが分かりました。

今後もこのような機会があれば、ぜひまた参加させていただきたいと思います。

◆視察旅行は毎年参加していますが、バスに乗っている時間を有効に使って先生方や龍道会長、他の参加者のお話が聞けてよかったです。昨年度はバスの中はもちろん、先生方とはほとんど会話もなく、国際情報の校長先生のご説明の際にはずっと足や腕を組んでおられる先生がいました。今年は初の大学で4年の父兄の間では好評でした。

1年生の父兄とはあまり話ができなくて残念でしたが、自分が1年生の親で、初の視察が大学だったら正直ちょっとボー然だったかもしれません。

熱心な親ならとくに進学先を決めていて、各学部が見たいというところなのかもしれませんが、うちの1年生はまだまだ・・・。どんなことに興味があってどんなことが得意でどんな風になりたいのか？忙しさに流されているだけでなく、親としてももう少し広く経験させ、きっかけ作りをしかけてやりたいと思いました。

4年生の息子とは昨年新大オープンキャンパスに参加し法学部の模擬講座を受講して、もらったパンフレットに載っていた県庁にお勤めの卒業生と知り合いになれました。「法学部はわかったけど、大学全体はどんなかんじ？」と聞いていたので、今回の視察はちょうどよかったです。(生協や食堂は時間をもったいないので、スルーしてください。)

昨年、息子が3年生の時、学校で大学パンフレットをいくつか取り寄せる課題がありました。それまでもつくば・新大や東北大に行きました。休みを利用して友達同士オープンキャンパスや家族旅行で大学見学もよく耳にします。目的が同じ友達同士は良いのですが、家族と一緒にだとそそくさと帰りたがったりもしますので、学校の視察旅行に参加させてもらい、見学できたのはありがたいです。

P T A視察だけでなく、学校で子供が聞く講演会を父兄にも聞かせてほしいです。年々

学校に出向く機会が減り、学年が下がるごとに参加率もさがっているように思います。

P T A運営役員の数が増えることがいいように、父兄や地域の方の参加者が増えて、中等や子供たちを知るための機会が増えてほしいと願います。

◆遠藤教頭先生には車内での退屈させない心配り等ガイドさんのように盛り上げていただきまして、ありがとうございました。

新潟大学と薬科大学でしたが、大学はどんなところか？国立総合大学と私立単科大学の違いを比較する上では良い選択だったと思います。（それぞれにもう少し時間をかけても良かった気がします。薬科大はさすがに駆け足すぎました！）

昨年までは、先進校視察ということで、中等校や高等学校が多かったと思います。

来年度からは、視察旅行の目的をどうするかによって、色々別れるのかなと考えます。

1.主に後期課程保護者向け進学大学選択目的の場合

- ・首都圏の国公立・私立大学を回り、中等出身の各大学在校生との懇談会をもつ。
- ・子供たちが学校訪問している東北大学に親の視点で見学に行く。
- ・とにかく、新潟県内の大学を見学する。（上越教育大、新潟県立大、その他私大）
- ・関西圏にも併願しやすいお得な大学（関西国立大：神戸大、大阪府大、大阪市大、私立大：関学、関大、同支社、立命）があるのでそちらを開拓に行く。
- ・東海地方までなら、いける人のための視察。（名古屋周辺＜三重、岐阜含む＞国公立、私立大学）
- ・隣県までくらいの人のため視察。（富山、長野、山形、金沢）

2.主に前期課程保護者向け他校視察が目的の場合

- ・県内中等校及び、高校視察。（国際情報のような進路意識が高く、学力向上のために、ある程度独創性のある高校）
- ・首都圏の中学校はどのようなことをしているか比較するために（都立九段中学校など）

3.あわせ技

- ・県内+α（例えば上越教育大+直江津中等、山形大+村上中等）
- ・首都圏中等+首都圏国公立
（1泊2日にて、1日ずつ中等校、大学に振り分け、間の夜は大学に首都圏大に在学する卒業生と懇親会をする。）

4.その他

- ・大学と中等／高校を隔年にする。
- など、予算の許す範囲で有意義に行きたいと思います。

今年の3期生が、頑張ってくれば、その慰労もかねて、1泊で首都圏または、進学人数が多い地域を目指して大学訪問してもいいかもしれませんね。